



260

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2025年4月27日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

息子を部活で亡くした夫婦 戦いと和解

27日(日)=1、3面

2009年8月、当時大分県の高校2年生だった工藤剣太さんは剣道の部活動中、熱中症でふらふらになりました。そこに顧問の教諭に殴打されるなどの暴行を受け、救急搬送され、その日の夕方亡くなりました。

身長180cmで三段という腕前。クラスメートにも親切で、弟たちの夕食を作ることもあった優しい「お兄ちゃん」でもありました。あまりに不条理な剣太さんの死に、両親の悲しみ、怒りは筆舌に尽くしがたいものでした。にもかかわらず学校はすぐに謝罪せず、

「対応に問題はなかった」と表明。その後、顧問と副顧問にはそれぞれ6カ月、2カ月の停職処分が出されただけでした。警察は2人を書類送検しますがその後、不起訴処分になります。

両親は県などを相手取り民事訴訟を起こし、「もう二度とこんなことが起きてはならない」と、全国各地を講演します。でも、肝心の剣太さんの学校からは声がかかりませんでした。しかし、4年前、ようやくその高校での講演が実現しました。「ある人物」が動きました。



工藤剣太さんの写真の隣に立つ奈美さんと英士さん

献体はどのように役立てられている？

27日(日)=総合面

医学教育や研究のため、自分の遺体を無条件・無償で提供する「献体」。2024年末には海外で日本の美容外科医が献体の前で撮影した写真を公開して批判を浴びましたが、ほとん

どの学生や医師らは畏敬の念を持って解剖に当たっています。日本の医学・歯学の発展に大きく貢献してきた献体ですが、現場ではどのように役立っているのでしょうか。



千葉大で行われている、手術手技向上研修の様子。千葉大クリニカルアナトミーラボ提供

福岡市が健康課題をテーマに開いた企業関係者向けイベントの様子



女性の就業人数は2024年平均で3082万人になり、新型コロナウイルスを減らすに転じた2020年を除いてこの10年間、右肩上がりに増加してきました。そんな中、生理に伴う症状、更年期障害、婦人科系が

そこが聞きたい 女性の健康と職場づくり

27日(日)11時からテレビ面

など、女性特有の健康課題を理解した職場の対応が急務となっています。産業医科大（北九州市）の立石清一郎教授（産業医学）に、企業や管理職、当事者が大切にすべきことを聞きました。

特集 ワイド

魚離れに挑む「魚屋の森さん」

28日(月)=夕刊2面



ユーチューブチャンネル「魚屋の森さん」が人気です。いろんな魚をさばいたり食べたり、漁業に関わる人たちに話を聞いたり。開設したのは鮮魚卸の2代目、森朝奈さん＝写真＝です。新型コロナウイルスの感

染拡大期にスタートし、5年ほどで累計約7000万回再生されています。魚食文化の普及や発展、伝承とインターネットは相性がいいと考える森さんに、あれやこれやと語ってもらいます。

毎日新聞

楽しい毎日を送れますように。
(坂井友子)



竹橋の窓辺から

編集後記

もうすぐゴールデンウィーク。お出かけする方も多いのではないのでしょうか。毎日新聞は40代以上のミドル・シニア世代に向けた医療・健康の情報を届ける「毎日メディカルサイト」をオープンしました。楽しく年をとるために役立つ情報を健康や医療の各ジャンルで活躍する医師や研究者から紹介します。詳しくはQRコードをご覧ください。皆様が健康で、楽しい毎日を送れますように。
(坂井友子)